

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和5年2月28日



学校だより

3月号

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

TEL 045(902)1821

ゆずり葉

校長 鈴木 彰

早いもので、この学校だよりも3月号となっています。本年度も終わりに近づきました。私は、この時期になると読みたくなる詩があって、詩集を手に取ります。河井醉茗の「ゆずり葉(ゆづり葉)」です。

子供たちよ。
これはゆずり葉の木です。
このゆずり葉は
新しい葉が出来ると
入り代わって古い葉が落ちてしまうのです。



から始まります。

ユズリハという木は、秋に落葉しません。春になって、花を咲かせ、新しい葉が育つのを待ってから、役目を終えたかのように散るのです。新芽が立派に成長する姿を見届けてから一生を終えるその姿は、まるで意志をもっているかのように感じます。

元石川小学校では17日に卒業式があって、6年生が巣立っていきます。毎年、6年生の子どもたちは、後輩たちを育て、その成長をあたたく目に留めながら卒業していきます。だから、5年生はバトンを受け継いで、すぐに頼りになる最高学年として歩み始めることができます。まるで、ゆずり葉です。

先日は、1年生がニチイキッズ保育園の園児を迎えて、学校案内をしました。いつの間にか立派になった1年生を見て、嬉しくなりました。また、さらに翌週、お礼の手紙を届けに再度来校した園児一人ひとりを見て、心に喜びが広がりました。

学校の春は、このほかにもたくさんのドラマがあって、胸を打つ出来事が連続します。涙するような光景を見ると、本当にこの仕事はやめられないなあと、私は強く思うのです。

前向きですばらしい世代交代の春。今年も、あたたかい、うれしい、前に一歩ふみ出す春を迎えたいと思います。保護者・地域の皆様、本年度もたくさんのお力添えをいただき、ありがとうございました。

「ゆずり葉」は、このように続きます。

世のお父さん、お母さんたちは
何一つ持ってゆかない。
みんなお前たちにゆずってゆくために
いのちあるもの、よいもの、美しいものを、
一生懸命に造っています。



私たち大人も、いつか訪れる世代交代までに、たくさんの「いのちあるもの」「よいもの」「美しいもの」、「愛」と「心」を、子どもたちに与えていきたいですね。